

平成 11 年度石川県保育士試験問題

児童心理学 (その1)

1 次のそれぞれの文の内容が正しいものには○印を、誤っているものには×印を () 内に記入しなさい。

- (1) () 幼児における注意や記憶のはたらきは、幼児自身の興味、関心や動機づけの強さや自我関与の強さに大きく作用される。
- (2) () 子どもの学習意欲や自立心あるいは集中力を促進させるためには、主として賞罰や競争など外的な報酬による動機づけを活用するのが望ましい。
- (3) () 発達指数は精神年齢を生活年齢で割って100をかけた数をいう。
- (4) () 子どもの気質 (temperament) の特徴は活動水準などの行動カテゴリーの特徴により示されるが、それは良いとか悪いということの意味しているのではなく、生まれた時からその子らしさ (個性) があるということを示している。
- (5) () 幼児期・児童期の運動機能の発達は、言葉、認知、情緒、遊びと対人関係、自己認識および社会性の発達とは関連なく独立に進展する。

2 次の文章の [] 内に、下記の語群から適当なものを選びその記号を記入しなさい。

- (1) 言葉はコミュニケーションつまり [] のほかに [] や創造や行動調整などの機能も果たす。これらは本来は自分の内部で自身に向けて使われる言葉なので [] と呼ばれる。行動調整は [] から発達する。行動の抑止や保留 (たとえば我慢) はそれより遅れて [] になり、物語などに想像をめぐらせるようになるのもこの頃からである。
- (2) 最近のように家庭の養育機能の低下が問題になっている時、子どもの不適應の問題を養育者の責任を追求することのみで済ませるのではなく、母親を支える [] 視点からなぜ子育てがうまくいかないのか、その解決の手がかりを見い出す努力が必要とされる。母親自身が [] を体験できずに育ってきていることもあるし、競争社会の中でゆとりなく、他の人の [] をかえりみることを知らずに育っていることもある。母親自身が、家庭や職業生活の中で [] の状態にあるかもしれない。子どもの側に立って、親の責任を追及し、問題点を指摘し、心がけを改めさせようとしたり、いたずらに努力を強いることは、子どもに対する親の関わりをより困難なものへと追い込んでいくことも少なくない。親を受け入れ、 [] し、信頼関係を深め、親に肯定的影響を与え得ることが、親の養育機能を補完する役割をもつ保育士の専門家としての力量に求められている。

- | | | | | |
|-----------|---------|-----------|-----------|-------------|
| (a) 言葉 | (b) 否定 | (c) 1、2才 | (d) 外言 | (e) あたたかい |
| (f) 5、6才 | (g) 冷たい | (h) 思考・想像 | (i) 3、4才 | (j) 豊かな情緒生活 |
| (k) 7、8才 | (l) 援助 | (m) 心 | (n) 情緒的混乱 | (o) 内言 |
| (p) 情緒的発達 | | | | |

受験番号

受験番号

平成 11 年度石川県保育士試験問題

児童心理学 (その2)

3 A欄の人名と最も関係のある項目をB欄、C欄からそれぞれ選びその数字と記号を()内に記入しなさい。

A 欄	B 欄	C 欄
バンデューラ () ()	(1) 発達漸成図式	(a) レディネス
ゲゼル () ()	(2) 象徴的思考	(b) 代理強化
エリクソン () ()	(3) モデリング	(c) 動作的表象
ピアジェ () ()	(4) 表象機能の発達理論	(d) 基本的信頼感
ブルーナー () ()	(5) 成熟優位説	(e) 脱中心化

4 母子関係を基盤とする従来の愛着の発生論的モデルと対照させながら、社会における母親以外の人との多様で多元的な対人関係を重視する社会的発達のモデルを、次の語句を用いながら要約して述べなさい。

ソーシャルネットワークモデル 核家族化 地域社会 少子化問題 仲間 ルイス

5 個々の子どもの発達の個人差を見極め、援助を行うときに必要な下記の4つの観点について要点を述べなさい。

- ①発達の観点 ②統計的観点 ③価値的観点 ④病理的観点

受験番号

受験番号